

都市ビジョン「田園未来都市」の具体化に向けて みらい会議 新総合計画キックオフシンポジウムを開催

3月18日(土)生涯学習センターで、「市みらい会議 新総合計画キックオフシンポジウム」を開催しました。市内外から約100人の方が参加しました。昨年12月に策定した「第4次総合計画後期基本計画」の本格的スタートの報告と、今後のまちづくりを市民の皆さんと行政が共に考えました。

企画政策課
☎995-1804



■市政報告

裾野市の現状とこれからのまちづくり

裾野市長 高村 謙二

市政報告で高村市長は、これまでの市政運営の4つの政策「ひとづくり」「豊かな産業づくり」「快適なまちづくり」「市民協働のまちづくり」で進めてきた取り組みを紹介し、その評価を踏まえて策定した後期基本計画の内容を説明しました。

後期基本計画の策定にあたっては、まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた「田園未来都市」という都市のコンセプトを引き継ぎました。「みんなで創る総合計画」をテーマに、市全体で1回、市民団体やグループなどで6回開催した意見交換の場「みらい会議」で、まちの将来像を未来思考で議論したことを報告しました。

市では、後期基本計画の計画期間である平成32年度まで、市民の皆さんと行政が意見交換する場として、定期的に「みらい会議」を開催していきます。今後も多くの皆さんの参画を呼びかけました。

■基調講演

Be Creative!

創造思考が導く新たな都市経営像

大道芸ワールドカップ in 静岡プロデューサー

甲賀 雅章氏

基調講演の講師には、大道芸ワールドカップ in 静岡のプロデューサーであり、デザイナー・クリエイターやまちづくりの仕掛け人として活躍する甲賀雅章さんを招きました。甲賀さんはBe Creativeとは、従来の概念や仕組み、価値観にとらわれることなく新しい価値を創造することと定義。私たちを取り巻く社会課題についての問題意識を提示し、過去からも学ぶが、あるべき未来から現在すべきことを考えるバックキャストिंगの発想の重要性を解説しました。

その上で「Be Creative な人達」＝「創造しい人々」とは、どんな社会成果（インパクト）を得るのかをまず考え、具体的なアクションプランを創造思考で企画し、失敗を恐れず実施してみる特性があるとし、参加者に、より豊かな暮らしの実現のために創造思考、未来思考でまちを見つめようと呼びかけました。

みんなで創る田園未来都市・裾野

これからまちづくりを進めるためには“将来こうなったらいいなあ”と思い描く都市ビジョンが必要です。市では平成 27 年度～平成 28 年度にかけて行った「まち・ひと・しごと創生会議」や第 4 次総合計画後期基本計画策定のための「みらい会議」で、市のビジョンを示すキーワードを定めました。それが「田園未来都市」です。

裾野市を改めて眺めてみれば、都心からも程近く、富士山・箱根山・愛鷹山などの緑豊かな自然が身近にある環境の中、世界的な企業が集積しつつある「まち」となっています。まさに、21 世紀の「田園都市」となる可能性が秘められています。新たなビジョンを掲げ、市民の皆さんとともに未来思考で「まちづくり」を進めたいと思っています。



平成 29 年度の論点 「田園未来都市」とは、具体的にどのような都市像なのか！？

市では、都市のコンセプトに掲げる「田園未来都市」の具体化な都市ビジョンへの落とし込みに向けて、平成 29 年度の論点として“「田園未来都市」とは、具体的にどのような都市像なのか”を、引き続き開催する「みらい会議」などを通じて議論していきます。

クリエイティブで創造しい皆さんのお力添えをお願いします。

◆みらい会議など「田園未来都市」に関する議論の情報は、市公式ウェブサイトでご案内していきます。
 <http://www.city.susono.shizuoka.jp/shisei/11/2/3224.html>

